

平成31年1月24日 No.212 所長 西川 典子
守山市勝部三丁目9番1号 (守山市生涯学習・教育支援センター 愛称：エルセンター3・4階)
E-mail kyoikukenkyu@city.moriyama.lg.jp Tel 077-583-4217 Fax 077-583-4237
H P http://www.city.moriyama.lg.jp/kyoikukenkyu_index.html

「こども育ち連携」の取組について

守山市役所 直属 小川 靖子

近年の急激な社会経済情勢等の変化により、守山市においても、こどもの育つ環境が大きく変化し、家庭力の低下、自己肯定感の低下など、こどもの育ちをめぐる様々な課題が生じております。また、本年10月からは、「幼児教育・保育の無償化」が予定され、更なる保育ニーズの増加により、家庭における子育て力の低下が懸念されております。

このような背景がある中、守山市では、これまでから様々な母子保健施策や子育て支援施策を展開してきましたが、保健、福祉、教育等の各分野が縦割りではなく、連携した取組による「こどもの育ち連携」を推し進める必要があることから、地域の皆さまの声を聞く中、検討を行ってまいりました。

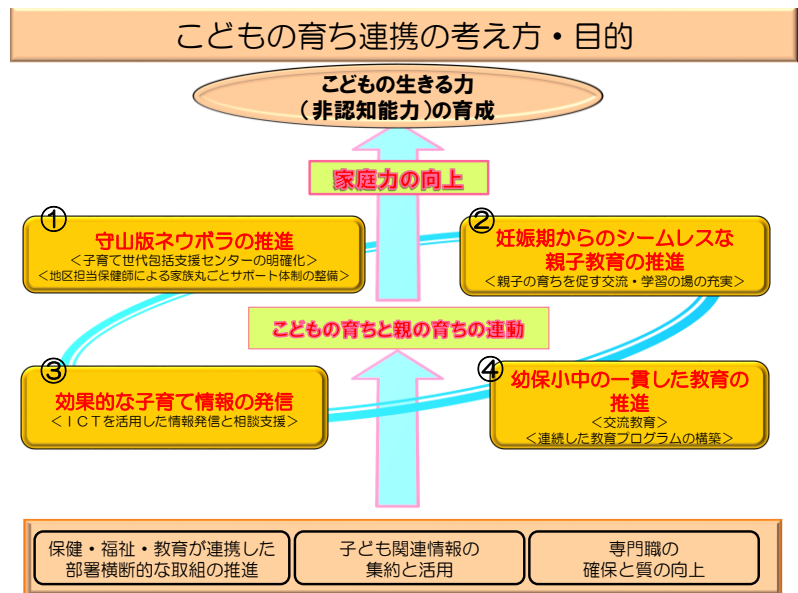
その中で思うことは、「保護者が自信をもってこどもと向き合い、楽しみながら育児ができるようになって欲しい」、「こどもの育ちに喜びを感じる保護者であって欲しい」ということであり、そういう保護者を地域の皆さんと共に支え、支援できるよう、市として取り組んでいきたいと考えています。

図でお示したものが、「こどもの育ち連携のコンセプト」です。

保健、福祉、教育の各分野が連携、協働しながら、「守山版ネウボラの推進」、「妊娠期からのシームレスな親子教育の推進」、「効果的な子育て情報の発信」、「幼保小中の一貫した教育の推進」の4つを推進の柱に掲げ、妊娠から学齢期にわたるまでを切れ目なくつなぎ、「こどもの育ちと親の育ち」を運動させながら、家庭力を高め、子どもたちが潜在的にもっている力を最大限に発揮し、生き生きと生活できる「こどもの生きる力、特に非認知能力の育成」を目指していきます。

親子の育ちを促すためには、家庭教育の確立とそれに向けた支援を早期に開始し、切れ目なく提供することが望まれます。そこで、母子健康手帳の発行から助産師等による支援の開始、実体験を通じた子育てサロンや知識の涵養を図るイベント等の開催やこどもの成長段階に応じた情報発信等、具体的な取組として進めていきます。中でも、現在、各公民館で実施している「親子ほっとステーション」では、保護者がこどもと楽しみながら、実体験を通して子育てのポイントを知ることができるメニューを提供していきますので、ぜひご参加いただきたいと思います。

さらには、「我が事丸ごと 地域共生社会」の実現に向け、こどもも含めた「家族まるごとの支援体制」の整備による全世代型地域包括ケア体制の整備と、誰もが役割と生きがいをもつ地域の醸成が求められていることから、こどもの育ち連携を発展的に取り組んでいきたいと考えています。



不登校や子育てなどの悩みをもつ方へ

教育相談

守山市教育研究所（エルセンター3、4F）では、教育相談を行っています。

○面接相談や電話相談

- ・不登校や子育てなどの悩みをもつ保護者への面接相談、電話相談

（日時：毎週月～金曜日 午前9時から午後5時まで）

- ・教員への相談活動

- ・月曜日から金曜日の全日（午前9時から午後5時まで）

速野公民館でも面接相談を行っています。

（日時：毎月2・4木曜日午前10時から午後3時まで）

お申し込みは、前日までに守山市教育研究所までお電話ください。

守山市教育研究所 教育相談電話 Tel 077-583-4237

守山市教育研究発表大会のお知らせ

1. 日 時 平成31年2月6日（水）午後1時45分から午後4時50分まで
（受付は午後1時30分から）
2. 場 所 守山市民ホール 小ホール
3. 対 象 約300人
（1）市内保・幼・こども園・小・中・高等学校の教職員ならびに保護者
（2）市内教育関係諸機関職員、市民など
4. 内 容
（1）受 付 午後1時30分から午後1時45分まで
（2）開会行事 挨拶（教育長、所長） 午後1時45分から午後1時55分まで
（3）中学生海外研修派遣団報告 午後1時55分から午後2時15分まで
（4）全国学力・学習状況調査の考察 午後2時15分から午後2時30分まで
（5）教育研究発表 午後2時30分から午後3時20分まで
①教育に関わる調査研究
②指導力向上に関する研究

（休 憩）

（6）教育講演会 午後3時30分から午後4時45分まで
講 師 羽川 英樹 氏（元読売テレビアナウンサー）
演 題 「言葉は魔物・宝物」 ～言葉ひとつでこう変わる～
講演内容 急速なIT化や雇用体系・時代背景の変化によって、上司・同僚・部下とのコミュニケーションの欠如が職場・各種団体などで大きな問題となっている。また、日常生活においても言葉の使い方ひとつで、人を喜ばせたり元気づけたり傷つけてしまうことが数多くある。現代人たちは今こそ「言葉」の重要性を痛感している時代である。
（7）閉会行事 挨拶（所長補佐） 午後4時45分から午後4時50分まで

5. 講師について

<プロフィール>

1953年京都市生まれ。同志社大学文学部心理学専攻卒業後、読売テレビアナウンサーとして「2時のワイドショー」「24時間テレビ」など全国ネット番組で活躍。93年フリーに。現在、BBC「きらりん滋賀」をはじめ、KBS京都ラジオ・ラジオ関西・ZTVなどで番組を担当。放送以外にも話法研修講師、イベント司会、アナウンサー養成などを幅広く手掛ける。

